8/11 朝日

命捨てる覚悟 繰り返すまい

無職　（島根県 66）

今ほど政治に怒りを覚えたことはない。安倍政権は国民の反対を無視し、安全保障関連法案を衆院で可決した。戦争中の米軍などを自衛隊が後方支援することは参戦していることにほかならない。参院で審議が続いているが、断固反対だ。

四十数年前の夏の日、20代だった私は広島県江田島市の旧海軍兵学校（現・海上自衛隊第1術科学校）を訪れた。そこで目にした若い特攻隊員の遺書は、魂が揺さぶられるほどに強烈であった。両親や家族にあて、感謝の意と戦地に向かう決意を吐露した遺書に、胸が締め付けられた。家族と幸せに暮らしたかったであろう、勉強もしたかったであろう。お国のために死ぬのは立派なことだと教育され、そう信じた多くの若者が戦禍に散った。涙が止まらず、しばらくその場を動けなかった。

父は2度召集され、いずれも外地に出ることはなかったが、母は「もう帰っては来ないだろう」と覚悟したという。戦中生まれの姉2人からは、戦中戦後の食料難などを何度も聞かされた。戦争は繰り返すまい。